

長良の日について

1：趣旨

これからの社会の良き形成者となる本校の生徒たちが、自分のやりたいこと、やるべきことを自分で計画して時間管理を行う経験の蓄積により、より一層主体性を高めてほしいという願いを込めた日として、また、職員の働き方改革の促進を図る日として位置付けたい。

2：目的

○「生徒の主体性を養うための日（長良の日）」と位置づけ、生徒が次の点を主な目的として、自ら考えて計画し、その計画に基づいて過ごす日とする。

（1）自分自身で時間管理を行う経験の蓄積

（2）自分自身で必要と考えることを計画的に行う主体的な学びの充実

○職員の計画的な年次休暇の取得等、働き方改革を促進する。

3：学校の具体的な取り組み

○学校休業日とする。

○原則として部活動は実施しない。

ただし、以下の①～③のいずれかの条件を満たす場合は、管理職と相談の上最大3時間まで活動を認められるものとする。

① 『高体連・高文連・高野連の主催大会』の2週間前

② 『各協会が主催する県・東海（中部）等上位大会の予選大会』の2週間前

③ 『予選、もしくは推薦を経て出場する各協会が主催する東海（中部）ブロック以上の大会』の2週間前

4：生徒の活動例

○博物館・美術館・科学館・図書館等で文化に浸る。

※平日は人が少ない！

○志望する大学に行き進路に対する解像度を上げる。

※オープンキャンパスとは違う、日常の大学を経験できる！食堂など自由に利用できる大学が多いです！

○溜まっている課題に取り組む、予習に費やす1日にする。

○疲れが溜まっているので一日寝る。

○日帰り小旅行（東京・大阪・金沢等、日帰りで行ける場所が多い）

○趣味に費やす1日にする。（聖地巡礼など）

○学校外の施設を借りたりして、スポーツにいそしむ。